



衆議院議員 神奈川大学講師 NHK政治部記者出身

# 池田元久



衆議院議員・池田元久事務所

国会事務所/〒100-8381 東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第1議員会館543号  
03-3508-7903 FAX 3508-3643

横浜事務所/〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-30  
045-371-1000 FAX 374-0100

衆議院議員 **池田元久**  
の活動報告

# ACTION REPORT

POLITICAL REPORT BY  
IKEDA-MOTOHISA

WINTER 2002



## 飢えから救おう

### 国際局長として活動

アフガニスタン

池田元久衆議院議員(保守ヶ谷区、旭区選出)は、九月から民主党の国際局長に就任した。外国との付き合い合い、交流を担当することになった。

アメリカ軍が「テロ撲滅のため」空爆を続けているアフガニスタンでは、二年に及ぶ内戦に加えて、未だかつてない干ばつに見

舞われ、六百万人を越える人々が飢えと水不足に苦しんでいる。このうち首都のカブールでは十万人を越える人々が餓死寸前の状態だといわれている。

そこで、池田議員は、国際局長として党のテロ対策本部のリーダーを務め、テロとの闘いに正面から取り組むと同時に、テロの大きな

のをはじめ、翌二日夕方急遽地元の横浜駅西口と相鉄鶴ヶ峰駅前で、事務所や民主党県連のスタッフ、それに洋子夫人も加わって街行く人に募金を呼びかけた。

池田議員は、「アフガニスタンはきびしい冬を迎えようとしている。現地では二百円あれば一人一月暮すことができる。できることから支援を始めましょう」と訴え、凡そ二時間の間に五万四千円の温いカンパが寄せられた。



募金を呼びかける池田議員(11月2日 横浜駅西口)

池田議員は、十一月一日党代表らとともに東京・有楽町で募金活動を行った。

金を主食のナン(パン)に換えてアフガニスタン国内の人々に贈ることになっている。(募金受付口座は、裏面下部に記載)

## 中選挙区制復活を狙う 公明党に批判集中、先送り

自公保守党三党は、十月二十四日三党の幹事長会議で衆議院の選挙制度について中選挙区を一部復活すること基本に合意した。

これは定数二の選挙区を十二、川崎市と千葉県の二市で定数三の選挙区を二つ

つくるという内容で、中選挙区制復活を強く求めてきた公明党に配慮したものだ。

これに対し、民主党は「いまの制度で当選の見込みが少ない公明党が議席を

獲得する狙いであり、なりふり構わない党利党略だ。合意には哲学も理念もない」ときびしく批判。また、他の野党や対象選挙区の自

民党議員、それに学者やメディアから批判が集中した。

このため、与党三党は、十一月一日党首会議でこれまでの提案は撤回するとともに、一年以内に成案を得るとして選挙制度の改革を先送りにした。

週刊朝日十一月九日号は、

特集記事の見出しで次の様に述べている。

ここまで露骨にやれば、ご立派と言うしかない。公明党は看板である平和主義に抵触しかねない米軍支援のテロ対策特措法の旗振り

役になって自民党に恩を売る一方、連立の離脱までにおわせて自民党を揺さぶるそのあられもない姿に、支持母体の創価学会員から疑問の声も出始めた。

### 私は変えたい。今こそ! 市民派パワーズ IKEDA MOTOHISA PROFILE



神奈川県生まれ。県立湘南高校を経て、早稲田大学政治経済学部を卒業。NHKに入り、金沢、札幌に勤務後、報道局政治部記者、総理官邸、衆議院、各党、各省を担当し数多くのスクープを重ねた。会長室にも勤務。

九〇年旧神奈川県四区から衆議院議員に初当選。政治改革の提言をいち早くまとめ、更に空域封鎖下のイラクを訪問し人質の解放を交渉。水源地の道志村ゴルフ場計画を断念に追い込む。「ニューウェーブの会」の代表幹事、「シリウス」の副代表などを務める。

九六年、二〇〇〇年の総選挙で神奈川県六区(保守ヶ谷区、旭区)から当選。大蔵省、行政改革特別委、金融安定化特別委、予算委の各理事を歴任。日本発金融恐慌を防ぐ金融再生四法を立案、成立を果たす。

国家基本政策委(党首討論)理事。民主党国際局長。県国会議員会議議長。神奈川県経営学部長。神奈川大学経営学部長。講師も務める。

好きな花:バラと蘭。自らも栽培していた。

好きな色:鮮やかなブルー。湘南の碧い海を連想させるから。

好きな人物:ジョン・F・ケネディ。彼が好んだ「力をもって、穏やかに口を開け」という言葉を、「誠実」と共に自らのモットーとする。